

会報 NO. 11

2011. 4. 11

共生力

HP: <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel : 03-3222-4190 Fax: 03-3222-4199

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-9 第 2 太陽ビル 301

発行人：黒田文男

未曾有の大災害に

中国・韓国からお見舞

3月11日に発生した東日本大震災でお亡くなりになられた方々には、心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された方々の一日も早い生活復興に向けて、当協会も力を合わせてまいります。

未曾有の大震災に際し、早速中国、韓国の友誼団体から、お見舞いが寄せられました。

中国宋慶齡基金會からです。

中國宋慶齡基金會
CHINA SOONG CHING LING FOUNDATION

慰問信

日本中国国際教育交流協会：

3月11日、日本東北地区发生 9.0 级大地震，并引发海啸和核泄漏给日本人民带来了前所未有的灾难。现在灾区仍然余震不断，救援工作困难重重。在一衣带水的中国，我们感同身受，深切关注友邻日本所蒙受的这次巨大损失。中日两国同属东方文明古国，“知恩图报”同时流淌在两国善良人们的血液中，中国遇到重大灾害时日本朋友向我们伸出的援助之手，至今感动在心。

此次地震，日本人民体现出的素质和能力，令我们感到欣慰和敬佩，我们心系日本的朋友们，我们相信并祝愿日本灾区人民尽早走出灾难阴影，恢复正常生活，重建自己的家园。

愿死者安息，愿生者安康！



2011年3月31日 每日新聞朝刊より

お見舞い

日本中国国際教育交流協会様

3月11日、日本東北地区宮城県の太平洋沖でマグニチュード(M) 9.0 の巨大地震と津波が発生し、その影響で放射能汚染も起きました。日本の方々は未曾有の災難に見舞われました。今、被災地では余震が相次ぎ、人命の救出には困難が沢山あると伺っています。一衣帶水の隣国としての中国は身近の災害であると実感して、近隣の日本に注目し続けています。

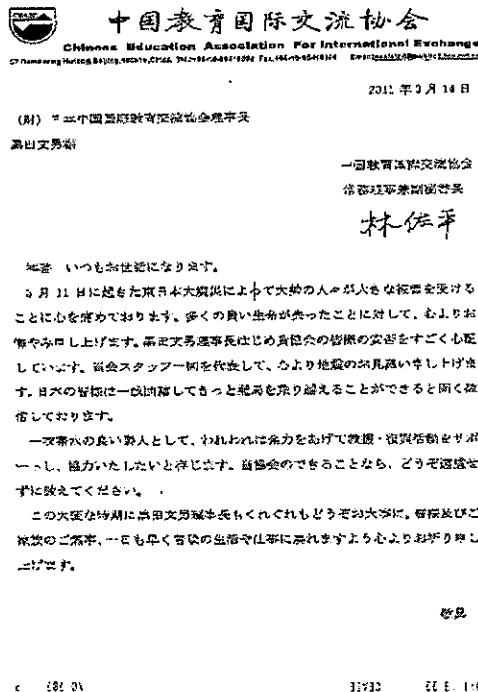
中日両国は東アジアでは歴史の長い文明国です。「恩返し」ということは両国国民にとって当たり前のことだと思います。中国は、大災害に遭った時、日本の友人たちが手を差し伸べてくださったことを今でも忘れる事はありません。

この大地震の中で、日本の民衆の方々に現れた高い素質と能力には感服させられます。日本の友人の皆様を心にかけているとともに、被災地の民衆の方々には一日も早く災害の陰から脱出し、正常な生活に戻るよう、再建と復興を確信して、心から祈っております。

震災犠牲者の冥福を祈りながらも生きている方々の平安を祈っております。

2011年3月16日
中国宋慶齡基金會

中国教育国際交流協会常務理事林佐平様からのお見舞いです。



(財)日本中国国際教育交流協会理事長
黒田 文男様

中国教育国際交流協会常務理事兼副秘書長
林佐平

拝啓

3月11日に起きた東日本大震災によって大勢の人々が大きな被害を受けることに心を痛めております。多くの尊い生命が失ったことに対して、心よりお悔やみ申し上げます。黒田文男理事長はじめ貴協会の皆様の安否をすごく心配しています。当会スタッフ一同を代表して、心より地震のお見舞いを申し上げます。日本の皆様は一致団結してきっと難局を乗り越えることができると固く確信しております。

一衣帶水の良い隣人として、われわれは全力を挙げて、救援・復興活動をサポートし、協力したいと存じます。当協会のできることなら、どうぞ遠慮せずに教えてください。

この大変な時期に黒田理事長もくれぐれもどうぞ大事に。

皆様及びご家族のご無事、一日も早く普段の生活や仕事に戻れますよう心よりお願い申し上げます。

敬具

安東自由大学名誉総長権重東様、安東市で安東自由大学をサポートしてくださった権氏様、崔宗燮様、他の韓國の方々より安否を気遣う、心温まる丁重なるお見舞いのお電話やメールをいただきました。

協会の謝辞

2011年3月16日

中国教育国際交流協会
常務理事兼副秘書長
林 佐 平 様

公益財団法人日本中国国際教育交流協会

代表理事 黒田 文男

この度の「東日本大震災」に当たりまして、貴協会より、早速丁重なお見舞いをいただきまして、心より感謝申し上げます。

本協会のスタッフおよび家族一同は無事ですのでご安心ください。

今回の大震災は、既に死者、行方不明者が数万人を下らないといわれ、日本の歴史上未曾有の大災害です。また、被災にあった原子力発電所の放射能漏れも、毎日大きく報道されており、近隣のみならず、国民全体に大きな不安を与えています。昨夜(3月15日)は、静岡県でも大きな地震がありました。連日、ひっきりなしに大きな余震が続いている。

貴国からは、温家宝首相、胡錦濤主席からいち早くお見舞いを頂き、中国赤十字会、中国国際援助隊等などからご支援を頂いていることは報道を通して皆の知るところです。

北京と同じ緯度に生活する被災者の方たちは、「私より大変な人がたくさんいる」と、零下を越す厳寒の中、歯を食いしばって、救助を待ち、耐えています。

国民一人ひとりも「微力だけれど無力ではない」と互いに助け合い、団結してこの難局を切り抜けていこうと、互いに励ましあっています。

私たち協会も、貴国の友人たちの友情を力に変え、共同の未来を創る夢を進めていく決意です。

あらためて貴職のお見舞いに心より感謝いたします。

中国宋慶齡基金会主席胡啓立様、安東自由大学名誉総長権重東様につきましてもほぼ同趣旨の謝辞をお送りいたしました。